

平成18年 人口動態統計（確定数）の概況

目 次		頁
調 査 の 概 要	-----	1
結 果 の 概 要	-----	2
(統 計 表)		
第 1 表	人口動態総覧 -----	3
第 2 表-1	人口動態総覧の年次推移 -----	4
第 2 表-2	人口動態総覧（率）の年次推移 -----	6
第 3 表-1	人口動態総覧，都道府県（16大都市再掲）別 -----	8
第 3 表-2	人口動態総覧（率），都道府県（16大都市再掲）別 -----	10
第 4 表	母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数 -----	12
第 5 表	母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた合計特殊出生率 -----	13
第 6 表	性別にみた死因順位（第10位まで）別 死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合 -----	14
第 7 表	死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対） -----	15
(別 表)	日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態 -----	18
付 表	諸率の算出に用いた人口 -----	19
参 考	合計特殊出生率について -----	20
厚生労働省ホームページ掲載表一覧	-----	24

厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健統計課

担当： 死亡・死産 年報第一係 内線 7490
 出生・婚姻・離婚 年報第二係 内線 7491
 電話： 03-5253-1111（代表）
 03-3595-2812（ダイヤルイン）

本資料を含む主要統計表（24ページ参照）は厚生労働省ホームページに掲載しています。
 掲載場所：「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」→「平成18年人口動態統計（確定数）の概況」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei06/index.html>

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況は、平成18年に日本において発生した日本人の事象を客体としている。
- 3 調査の期間 平成18年1月1日～平成18年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統 市区町村 —— 保健所 —— 都道府県 —— 厚生労働省

┌
└
保健所を
設置する市・特別区
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

《利用上の注意》

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数 集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 いずれも前年以前発生のもを含む 公表：毎月 (調査月の約2か月後)	数値：概数 集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く) 公表：毎月 (調査月の約5か月後) ; 毎年 (年間合計) (調査年の翌年6月)	数値：確定数 (概数に修正を加えたもの) 集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲) 公表：毎年 (調査年の翌年9月ころ)

※本概況は太枠の部分である。

報告書 (刊行は平成20年2～3月ころ)

- 上巻 (人口動態調査の概要及び結果の解析を収録)
- 中巻 (出生・死亡・死産・婚姻及び離婚に関する統計表を収録)
- 下巻 (死因に関する統計表を収録)

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小 (0.05未満) の場合	0.0
減少数 (率) の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の解説

- 自然増加：出生数から死亡数を減じたもの
 - 乳児死亡：生後1年未満の死亡
 - 新生児死亡：生後4週未満の死亡
 - 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
 - 死産：妊娠満12週以後の死児の出産
 - 周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
- 合計特殊出生率については、20ページ参照

結果の概要

1 出生数は増加

出生数は109万2674人で、前年の106万2530人より3万144人増加し、6年ぶりに増加した。出生率（人口千対）は8.7で前年の8.4を上回った。合計特殊出生率は1.32で、前年の1.26を大きく上回り6年ぶりに上昇した。（第1表、第2表-1、第2表-2）

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、減少を続けていた20～24歳が増加に転じ、25～29歳は前年に引き続き減少したが、前年に比べ減少幅は大幅に縮小した。前年減少した30～34歳は再び増加に転じ、35歳以上は増加傾向である。

合計特殊出生率を母の年齢（5歳階級）別にみると15～19歳と45～49歳を除く各年齢階級で上昇し、30～34歳が25～29歳を、35～39歳が20～24歳を、40～44歳が15～19歳をそれぞれ上回った。

出生順位別にみると出生数・合計特殊出生率ともにいずれの出生順位についても前年を上回っている。母の年齢（5歳階級）別と併せてみると、出生数は35～39歳の第2子が最も増加しており、第3子は14歳以下と50歳以上を除く各年齢階級で増加した。（第4表、第5表）

2 死亡数は増加

死亡数は108万4450人で、前年の108万3796人より654人増加し、死亡率（人口千対）は8.6で前年と同率となった（第1表）。

悪性新生物の死亡数は32万9314人で、死亡率（人口10万対）は261.0であり、死亡総数の30.4%を占めて死因順位の第1位となっている。第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患である。（第6表）

年齢調整死亡率（人口千対）は男5.7、女2.9で前年より男は0.2、女は0.1それぞれ下回った（第1表）。

3 自然増加数は増加

自然増加数（出生数から死亡数を減じたもの）は8224人で、前年の△2万1266人より2万9490人増加し、自然増加率（人口千対）は0.1で、前年の△0.2を上回り、数・率ともに、前年は統計の得られていない昭和19年から21年を除き、現在の形式で統計をとり始めた明治32年以降初めてマイナスとなったが、本年は再びプラスとなった（第1表、第2表-1、第2表-2）。

4 死産数は減少

死産数は3万911胎で、前年の3万1818胎より907胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は27.5で、前年の29.1を下回った（第1表）。

5 婚姻件数は増加

婚姻件数は73万971組で、前年の71万4265組より1万6706組増加し、5年ぶりに増加に転じた（第1表、第2表-1）。

婚姻率（人口千対）は5.8で、前年の5.7を上回った（第1表）。

6 離婚件数は減少

離婚件数は25万7475組で、前年の26万1917組より4442組減少したが、その減少幅は前年の8887組と比べ約半数と小さくなっている（第1表、第2表-1）。

離婚率（人口千対）は2.04で、前年の2.08を下回った（第1表）。

(統計表)

第1表 人口動態総覧

	実数			率 ¹⁾		平均発生間隔	
	平成18年	平成17年	対前年増減	平成18年	平成17年	平成18年	平成17年
出生	1 092 674	1 062 530	30 144	8.7	8.4	分 秒	分 秒
男	560 439	545 032	15 407	9.1	8.8	56"	58"
女	532 235	517 498	14 737	8.2	8.0	59"	1' 1"
死亡	1 084 450	1 083 796	654	8.6	8.6	29"	29"
男	581 370	584 970	△ 3 600	9.4	9.5	54"	54"
女	503 080	498 826	4 254	7.8	7.7	1' 3"	1' 3"
(再掲)							
乳児死亡	2 864	2 958	△ 94	2.6	2.8	183' 31"	177' 41"
新生児死亡	1 444	1 510	△ 66	1.3	1.4	363' 59"	348' 5"
自然増加	8 224	△ 21 266	29 490	0.1	△ 0.2
死産	30 911	31 818	△ 907	27.5	29.1	17' 0"	16' 31"
自然死産	13 424	13 502	△ 78	11.9	12.3	39' 9"	38' 56"
人工死産	17 487	18 316	△ 829	15.6	16.7	30' 3"	28' 42"
周産期死亡	5 100	5 149	△ 49	4.7	4.8	103' 4"	102' 5"
妊娠満22週以後の死産	4 047	4 058	△ 11	3.7	3.8	129' 52"	129' 31"
早期新生児死亡	1 053	1 091	△ 38	1.0	1.0	499' 9"	481' 46"
婚姻	730 971	714 265	16 706	5.8	5.7	43"	44"
離婚	257 475	261 917	△ 4 442	2.04	2.08	2' 2"	2' 0"

	平成18年	平成17年
合計特殊出生率 ²⁾	1.32	1.26
年齢調整死亡率 ³⁾ 男	5.7	5.9
女	2.9	3.0

- 注：1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率（期間合計特殊出生率）とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
（実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。20ページ参照）
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口、19ページ参照）にあてはめて算出した指標である。

第2表-1 人口動態総覧の年次推移

年次 ¹⁾	出生数	死亡数	(再掲)		自然増加数	
			乳児死亡数	新生児死亡数		
1947	昭和22年	2 673 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
48	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
49	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
51	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
52	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
53	28	1 863 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
54	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089
55	30	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
56	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
57	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
58	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
59	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
61	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
62	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
63	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
64	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
65	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
66	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
67	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
68	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
69	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
71	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
72	47	2 033 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
73	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
74	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
75	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
76	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
77	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
78	53	1 703 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
79	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
81	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
82	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
83	58	1 503 687	740 038	9 406	5 894	768 649
84	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
85	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
86	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
87	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
88	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
89	平成元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
91	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
92	4	1 203 989	856 643	5 477	2 905	352 346
93	5	1 183 282	878 532	5 169	2 765	309 750
94	6	1 233 328	875 933	5 261	2 889	362 395
95	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
96	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
97	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
98	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
99	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
01	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
02	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
03	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
04	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
05	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
06	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 妊娠満2週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

3) (参考)の周産期死亡数は妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。

4) 死産数の昭和23年、24年には自然死産・人工死産の不詳を含む。なお、*印は概数である。

死 産 数			周 産 期 死亡数 ²⁾	婚 姻 件 数	離 婚 件 数
総 数	自然死産	人工死産			
123 837	934 170	79 551
¹⁾ 143 963	*104 325	*31 055	...	953 999	79 032
¹⁾ 192 677	*114 161	*75 585	...	842 170	82 575
216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689
217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331
203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021
193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255
187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759
183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267
179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040
176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651
185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004
181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455
179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410
179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323
177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394
175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996
168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306
161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195
148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432
149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478
143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327
139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280
135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937
130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595
125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382
116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877
109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622
101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135
101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512
95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485
87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146
82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250
77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689
79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221
78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980
71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150
72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746
69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640
65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054
63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227
59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600
55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811
53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608
50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969
48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191
45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297
42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106
39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016
39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955
39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635
38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183
38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529
38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246
37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911
36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836
35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854
34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804
31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917
30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475

(参考)

周 産 期 死亡数 ³⁾	年 次 ¹⁾	
	昭和22年	1947
...	23	48
...	24	49
108 843	25	1950
99 865	26	51
91 527	27	52
85 932	28	53
79 776	29	54
75 918	30	55
75 706	31	56
70 502	32	57
72 625	33	58
69 912	34	59
66 552	35	1960
65 063	36	61
62 650	37	62
60 049	38	63
56 827	39	64
54 904	40	65
42 583	41	66
50 846	42	67
45 921	43	68
43 419	44	69
41 917	45	1970
40 900	46	71
38 754	47	72
37 598	48	73
34 383	49	74
30 513	50	75
27 133	51	76
24 708	52	77
22 217	53	78
20 481	54	79
18 385	55	1980
16 531	56	81
15 303	57	82
14 035	58	83
12 998	59	84
11 470	60	85
10 148	61	86
9 317	62	87
8 508	63	88
7 450	平成元年	89
7 001	2	1990
6 544	3	91
6 321	4	92
5 989	5	93
6 134	6	94
5 526	7	95
5 321	8	96
4 974	9	97
4 927	10	98
4 665	11	99
4 562	12	2000
4 238	13	01
4 224	14	02
3 995	15	03
3 671	16	04
3 492	17	05
3 420	18	06

第2表-2 人口動態総覧(率)の年次推移

年次 ¹⁾		出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児 死亡率 (出生千対)	新生児 死亡率 (出生千対)	自然 増加率 (人口千対)	死産率 ²⁾ (出産千対)	自然 死産率	人工 死産率
1947	昭和22年	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2
48	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	*36.9	*10.9
49	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	*39.1	*25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
51	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
52	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
53	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
54	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1
55	30	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
56	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
57	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
58	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
59	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
61	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
62	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
63	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
64	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
65	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
66	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
67	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
68	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
69	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
71	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
72	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
73	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
74	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
75	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
76	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
77	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
78	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
79	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
81	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
82	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
83	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
84	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
85	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
86	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
87	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
88	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
89	平成元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
91	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
92	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
93	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
94	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
95	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
96	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
97	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
98	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
99	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
01	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
02	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
03	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
04	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
05	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
06	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 死産率は死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除している。なお、*印は概数による率である。

3) 周産期死亡率は周産期死亡数を出産数(妊娠満2週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

4) 合計特殊出生率(期間合計特殊出生率)とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

(実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。20ページ参照)

周産期 死亡率 ³⁾ (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)
...	12.0	1.02
...	11.9	0.99
...	10.3	1.01
...	8.6	1.01
...	7.9	0.97
...	7.9	0.92
...	7.8	0.86
...	7.9	0.87
...	8.0	0.84
...	7.9	0.80
...	8.5	0.79
...	9.0	0.80
...	9.1	0.78
...	9.3	0.74
...	9.4	0.74
...	9.8	0.75
...	9.7	0.73
...	9.9	0.74
...	9.7	0.79
...	9.5	0.80
...	9.6	0.84
...	9.5	0.87
...	9.6	0.89
...	10.0	0.93
...	10.5	0.99
...	10.4	1.02
...	9.9	1.04
...	9.1	1.04
...	8.5	1.07
...	7.8	1.11
...	7.2	1.14
...	6.9	1.15
21.6	6.8	1.17
20.2	6.7	1.22
19.5	6.6	1.32
18.3	6.6	1.39
16.9	6.4	1.51
16.6	6.2	1.50
15.4	6.1	1.39
14.6	5.9	1.37
13.7	5.7	1.30
12.7	5.8	1.26
12.1	5.8	1.29
11.1	5.9	1.28
8.5	6.0	1.37
8.1	6.1	1.45
7.7	6.4	1.52
7.5	6.3	1.57
7.0	6.4	1.60
6.7	6.4	1.66
6.4	6.2	1.78
6.2	6.3	1.94
6.0	6.1	2.00
5.8	6.4	2.10
5.5	6.4	2.27
5.5	6.0	2.30
5.3	5.9	2.25
5.0	5.7	2.15
4.8	5.7	2.08
4.7	5.8	2.04

合計特殊 出生率 ¹⁾	年齢調整死亡率 ⁵⁾ (人口千対)	
	男	女
4.54	23.6	18.3
4.40	19.3	15.4
4.32	18.9	15.0
3.65	18.6	14.6
3.26	16.9	13.4
2.98	15.7	12.4
2.69	16.4	12.6
2.48	15.2	11.3
2.37	14.8	11.0
2.22	15.6	11.5
2.04	16.3	11.8
2.11	14.4	10.4
2.04	14.4	10.2
2.00	14.8	10.4
1.96	14.3	10.0
1.98	14.6	10.0
2.00	13.4	9.3
2.05	13.2	9.1
2.14	13.7	9.3
1.58	12.7	8.7
2.23	12.6	8.5
2.13	12.5	8.4
2.13	12.4	8.2
2.13	12.3	8.2
2.16	11.5	7.6
2.14	11.2	7.4
2.14	11.2	7.4
2.05	10.9	7.2
1.91	10.4	6.9
1.85	10.1	6.6
1.80	9.6	6.2
1.79	9.4	6.0
1.77	9.0	5.7
1.75	9.2	5.8
1.74	8.9	5.6
1.77	8.5	5.2
1.80	8.6	5.2
1.81	8.3	5.0
1.76	8.1	4.8
1.72	7.8	4.6
1.69	7.6	4.4
1.66	7.7	4.5
1.57	7.4	4.2
1.54	7.5	4.2
1.53	7.4	4.1
1.50	7.4	4.0
1.46	7.3	4.0
1.50	7.1	3.8
1.42	7.2	3.8
1.43	6.8	3.6
1.39	6.7	3.5
1.38	6.6	3.4
1.34	6.7	3.4
1.36	6.3	3.2
1.33	6.2	3.1
1.32	6.0	3.0
1.29	6.0	3.0
1.29	5.9	3.0
1.26	5.9	3.0
1.32	5.7	2.9

(参考)

周産期 死亡率 ⁵⁾ (出生千対)	年次 ¹⁾	
...	昭和22年	1947
...	23	48
...	24	49
46.6	25	1950
46.7	26	51
45.6	27	52
46.0	28	53
45.1	29	54
43.9	30	55
45.5	31	56
45.0	32	57
43.9	33	58
43.0	34	59
41.4	35	1960
40.9	36	61
38.7	37	62
36.2	38	63
33.1	39	64
30.1	40	65
31.3	41	66
26.3	42	67
24.5	43	68
23.0	44	69
21.7	45	1970
20.4	46	71
19.0	47	72
18.0	48	73
16.9	49	74
16.0	50	75
14.8	51	76
14.1	52	77
13.0	53	78
12.5	54	79
11.7	55	1980
10.8	56	81
10.1	57	82
9.3	58	83
8.7	59	84
8.0	60	85
7.3	61	86
6.9	62	87
6.5	63	88
6.0	平成元年	89
5.7	2	1990
5.3	3	91
5.2	4	92
5.0	5	93
5.0	6	94
4.7	7	95
4.4	8	96
4.2	9	97
4.1	10	98
4.0	11	99
3.8	12	2000
3.6	13	01
3.7	14	02
3.6	15	03
3.3	16	04
3.3	17	05
3.1	18	06

5) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口 19ページ参照)にあてはめて算出した指標である。

6) (参考)の周産期死亡率は妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除したものである。平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。

第3表-1 人口動態総覧，都道府県（16大都市再掲）別

都道府県	出生数			死亡数			(再掲)			新生児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全国	1 092 674	560 439	532 235	1 084 450	581 370	503 080	2 864	1 556	1 308	1 444
北海道	42 204	21 899	20 305	50 229	27 519	22 710	116	60	56	53
青森	10 556	5 301	5 255	14 733	7 955	6 778	32	15	17	22
岩手	10 556	5 325	5 231	14 552	7 680	6 872	26	11	15	19
宮城	19 706	10 041	9 665	19 796	10 676	9 120	41	24	17	23
秋田	7 726	3 999	3 727	13 558	7 191	6 367	21	10	11	11
山形	9 513	4 861	4 652	13 231	7 026	6 205	31	19	12	17
福島	17 541	8 951	8 590	20 528	10 989	9 539	41	18	23	19
茨城	25 128	12 911	12 217	26 061	14 108	11 953	65	30	35	32
栃木	17 647	9 099	8 548	17 947	9 743	8 204	56	29	27	28
群馬	17 061	8 696	8 365	18 061	9 637	8 424	40	22	18	21
埼玉	61 201	31 335	29 866	48 579	26 957	21 622	163	88	75	78
千葉	51 762	26 580	25 182	44 778	24 628	20 150	136	77	59	72
東京都	101 674	52 391	49 283	93 596	50 908	42 688	290	156	134	154
神奈川	79 118	40 724	38 394	58 898	33 016	25 882	236	122	114	127
新潟	18 985	9 689	9 296	23 939	12 640	11 299	46	25	21	29
富山	8 965	4 632	4 333	10 963	5 732	5 231	24	12	12	17
石川	10 235	5 156	5 079	10 294	5 405	4 889	25	15	10	11
福井	7 324	3 760	3 564	7 725	3 989	3 736	17	6	11	8
山梨	7 094	3 612	3 482	8 380	4 429	3 951	22	13	9	7
長野	18 775	9 639	9 136	21 116	10 921	10 195	39	28	11	13
岐阜	18 092	9 188	8 904	18 638	10 021	8 617	60	29	31	35
静岡	32 905	16 803	16 102	32 001	17 133	14 868	87	50	37	43
愛知	69 999	35 935	34 064	52 294	28 543	23 751	188	105	83	72
三重	15 816	8 027	7 789	17 156	8 938	8 218	45	25	20	25
滋賀	13 448	7 023	6 425	10 507	5 490	5 017	41	20	21	27
京都	22 100	11 368	10 732	22 419	11 488	10 931	48	19	29	29
大阪	77 641	39 735	37 906	69 007	37 664	31 343	204	114	90	97
兵庫県	48 771	25 096	23 675	46 476	24 701	21 775	118	66	52	62
奈良	11 476	5 785	5 691	11 684	6 132	5 552	29	11	18	15
和歌山	7 930	4 003	3 927	11 031	5 853	5 178	22	13	9	10
鳥取	5 186	2 679	2 507	6 328	3 255	3 073	10	8	2	5
島根	6 011	3 090	2 921	8 453	4 357	4 096	16	11	5	8
岡山	17 279	8 974	8 305	18 317	9 626	8 691	32	17	15	15
広島	25 330	13 052	12 278	25 722	13 621	12 101	67	35	32	31
山口	11 692	5 935	5 757	16 415	8 575	7 840	31	17	14	19
徳島	6 257	3 218	3 039	8 721	4 607	4 114	19	17	2	10
香川	8 664	4 447	4 217	10 241	5 364	4 877	25	16	9	9
愛媛	11 752	5 917	5 835	15 335	8 016	7 319	17	7	10	6
高知	6 015	3 064	2 951	8 927	4 634	4 293	18	12	6	14
福岡	45 304	23 323	21 981	43 270	22 728	20 542	90	51	39	46
佐賀	7 647	4 023	3 624	8 447	4 271	4 176	15	7	8	10
長崎	12 410	6 322	6 088	14 941	7 798	7 143	37	21	16	21
熊本	16 189	8 175	8 014	18 084	9 293	8 791	35	21	14	16
大分	10 156	5 171	4 985	12 092	6 257	5 835	24	14	10	14
宮崎	10 094	5 149	4 945	11 138	5 728	5 410	24	15	9	9
鹿児島	15 080	7 792	7 288	18 828	9 675	9 153	53	33	20	17
沖縄	16 483	8 461	8 022	9 121	4 849	4 272	39	22	17	15
外国	176	83	93	192	121	71	1	-	1	1
不詳	.	.	.	1 701	1 483	218	2	-	2	2
(再掲)										
東京都区部	67 732	34 912	32 820	65 154	35 537	29 617	197	109	88	108
札幌市	14 730	7 596	7 134	13 268	7 224	6 044	34	13	21	16
仙台市	9 363	4 776	4 587	6 494	3 495	2 999	21	11	10	11
さいたま市	10 885	5 613	5 272	7 563	4 251	3 312	31	18	13	14
千葉市	8 005	4 117	3 888	5 921	3 305	2 616	22	10	12	16
横浜市	32 571	16 902	15 669	23 460	13 215	10 245	94	43	51	52
川崎市	13 648	7 056	6 592	8 017	4 708	3 309	38	24	14	22
静岡市	5 771	2 971	2 800	6 073	3 277	2 796	18	11	7	8
名古屋市	19 775	10 072	9 703	17 291	9 525	7 766	49	28	21	19
京都市	11 845	6 109	5 736	12 390	6 321	6 069	30	12	18	17
大阪市	22 949	11 916	11 033	23 753	13 261	10 492	62	33	29	31
堺市	7 794	4 016	3 778	6 435	3 396	3 039	16	8	8	8
神戸市	12 720	6 571	6 149	12 450	6 649	5 801	35	18	17	18
広島市	11 154	5 729	5 425	8 115	4 343	3 772	24	14	10	11
北九州市	8 457	4 322	4 135	9 586	5 157	4 429	21	10	11	11
福岡市	13 222	6 845	6 377	8 910	4 734	4 176	24	17	7	10

注：1 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。
 2 堺市は平成18年4月から指定都市となったが、1月からの数値を計上している。

自然増加数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数	都道府県
	総数	自然死産	人工死産	総数	妊娠満期 22週以後の死産	早産 新生児死亡			
8 224	30 911	13 424	17 487	5 100	4 047	1 053	730 971	257 475	全 国
△ 8 025	1 552	612	940	215	175	40	30 210	13 182	北 海 道
△ 4 177	382	166	216	68	50	18	6 642	3 044	青 森 県
△ 3 996	338	131	207	53	38	15	6 458	2 391	岩 手 県
△ 90	610	238	372	101	86	15	13 035	4 757	宮 城 県
△ 5 832	262	110	152	46	37	9	4 785	1 899	秋 田 県
△ 3 718	267	117	150	45	33	12	5 661	2 036	山 形 県
△ 2 987	525	202	323	71	54	17	10 512	4 152	福 島 県
△ 933	744	318	426	116	90	26	16 029	5 877	茨 城 県
△ 300	502	216	286	85	65	20	11 331	4 083	栃 木 県
△ 1 000	447	200	247	96	79	17	10 877	3 899	群 馬 県
12 622	1 602	797	805	313	261	52	40 907	14 117	埼 玉 県
6 984	1 338	706	632	242	193	49	36 389	12 440	千 葉 県
8 078	2 782	1 247	1 535	478	366	112	89 413	26 347	東 京 都
20 220	1 875	929	946	397	305	92	57 046	18 447	神 奈 川 県
△ 4 954	532	255	277	100	77	23	11 437	3 660	新 潟 県
△ 1 998	248	141	107	61	48	13	5 342	1 768	富 山 県
△ 59	245	144	101	52	44	8	6 267	2 007	石 川 県
△ 401	181	68	113	31	23	8	4 224	1 342	福 井 県
△ 1 286	176	76	100	26	20	6	4 588	1 707	山 梨 県
△ 2 341	485	219	266	83	71	12	11 756	3 872	山 梨 県
△ 546	461	207	254	99	74	25	10 772	3 447	岐 阜 県
904	840	401	439	136	108	28	21 663	7 281	静 岡 県
17 705	1 700	780	920	297	245	52	46 374	13 861	愛 知 県
△ 1 340	426	198	228	83	64	19	9 889	3 508	三 重 県
2 941	329	190	139	84	63	21	7 705	2 459	滋 賀 県
△ 319	559	224	335	90	72	18	14 477	5 091	京 都 府
8 634	2 150	887	1 263	334	269	65	53 142	20 465	大 阪 府
2 295	1 247	579	668	192	148	44	31 044	10 914	兵 庫 県
△ 208	340	159	181	71	62	9	7 000	2 549	和 歌 山 県
△ 3 101	206	80	126	37	28	9	4 999	2 261	和 歌 山 県
△ 1 142	157	69	88	24	20	4	2 983	1 201	鳥 取 県
△ 2 442	160	56	104	24	18	6	3 305	1 199	島 根 県
△ 1 038	523	192	331	73	63	10	10 292	3 739	岡 山 県
△ 392	629	256	373	92	71	21	16 209	5 484	廣 島 県
△ 4 723	338	156	182	60	44	16	7 218	2 729	山 口 県
△ 2 464	168	62	106	26	19	7	3 648	1 557	徳 島 県
△ 1 577	244	125	119	38	30	8	5 290	2 034	香 川 県
△ 3 583	356	120	236	45	41	4	7 460	3 056	愛 媛 県
△ 2 912	178	59	119	30	19	11	3 612	1 720	高 知 県
2 034	1 495	505	990	177	143	34	30 006	11 291	福 岡 県
△ 800	228	87	141	29	22	7	4 270	1 658	佐 賀 県
△ 2 531	488	175	313	59	43	16	7 009	2 926	長 崎 県
△ 1 895	576	196	380	74	61	13	9 313	3 632	熊 本 県
△ 1 936	337	124	213	53	40	13	6 201	2 478	大 宮 市
△ 1 044	447	142	305	37	30	7	6 211	2 675	大 宮 市
△ 3 748	596	211	385	68	59	9	9 117	3 583	鹿 児 島 県
7 362	615	281	334	83	73	10	8 853	3 650	沖 縄 県
△ 16	11	4	7	1	-	1	.	.	外 国 詳
.	14	7	7	5	3	2	.	.	不 詳
									(再掲)
2 578	1 915	848	1 067	318	241	77	65 569	18 690	東 京 都 区 部
1 462	545	212	333	68	55	13	11 644	4 698	札 幌 市
2 869	269	95	174	32	26	6	6 674	2 072	仙 台 市
3 322	248	107	141	53	43	10	7 346	2 161	さい たま 市
2 084	171	105	66	42	29	13	5 554	1 914	千 葉 市
9 111	751	381	370	154	119	35	23 038	7 414	横 濱 市
5 631	283	147	136	69	52	17	10 876	2 944	川 崎 市
△ 302	171	77	94	29	22	7	3 970	1 385	静 岡 市
2 484	529	231	298	79	65	14	14 933	4 695	名 古 屋 市
△ 545	305	109	196	42	31	11	8 613	3 052	京 都 市
△ 804	706	266	440	91	73	18	18 312	7 014	大 阪 市
1 359	210	92	118	38	31	7	4 770	1 872	堺 市
270	310	139	171	44	29	15	8 531	3 209	神 戸 市
3 039	261	112	149	40	33	7	7 412	2 380	広 島 市
△ 1 129	267	76	191	35	25	10	5 565	2 293	北 九 州 市
4 312	460	150	310	48	39	9	9 859	3 244	福 岡 市

第3表-2 人口動態総覧（率），都道府県（16大都市再掲）別

都道府県	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増加率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
	(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
全 国	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
北海道	7.6	9.0	2.7	1.3	△ 1.4	35.5	14.0	21.5
青森	7.4	10.4	3.0	2.1	△ 2.9	34.9	15.2	19.7
岩手	7.7	10.6	2.5	1.8	△ 2.9	31.0	12.0	19.0
宮城	8.4	8.4	2.1	1.2	△ 0.0	30.0	11.7	18.3
秋田	6.8	12.0	2.7	1.4	△ 5.2	32.8	13.8	19.0
山形	7.9	11.0	3.3	1.8	△ 3.1	27.3	12.0	15.3
福島	8.5	9.9	2.3	1.1	△ 1.4	29.1	11.2	17.9
茨城	8.6	8.9	2.6	1.3	△ 0.3	28.8	12.3	16.5
栃木	8.9	9.0	3.2	1.6	△ 0.2	27.7	11.9	15.8
群馬	8.6	9.1	2.3	1.2	△ 0.5	25.5	11.4	14.1
埼玉	8.8	7.0	2.7	1.3	1.8	25.5	12.7	12.8
千葉	8.6	7.5	2.6	1.4	1.2	25.2	13.3	11.9
東京都	8.2	7.5	2.9	1.5	0.7	26.6	11.9	14.7
神奈川県	9.1	6.8	3.0	1.6	2.3	23.2	11.5	11.7
新潟	7.9	9.9	2.4	1.5	△ 2.1	27.3	13.1	14.2
富山	8.2	10.0	2.7	1.9	△ 1.8	26.9	15.3	11.6
石川	8.8	8.9	2.4	1.1	△ 0.1	23.4	13.7	9.6
福井	9.1	9.6	2.3	1.1	△ 0.5	24.1	9.1	15.1
山梨	8.2	9.7	3.1	1.0	△ 1.5	24.2	10.5	13.8
長野	8.7	9.8	2.1	0.7	△ 1.1	25.2	11.4	13.8
岐阜	8.8	9.0	3.3	1.9	△ 0.3	24.8	11.2	13.7
静岡県	8.8	8.6	2.6	1.3	0.2	24.9	11.9	13.0
愛知	9.8	7.3	2.7	1.0	2.5	23.7	10.9	12.8
三重	8.6	9.4	2.8	1.6	△ 0.7	26.2	12.2	14.0
滋賀	9.9	7.7	3.0	2.0	2.2	23.9	13.8	10.1
京都府	8.5	8.6	2.2	1.3	△ 0.1	24.7	9.9	14.8
大阪府	9.0	8.0	2.6	1.2	1.0	26.9	11.1	15.8
兵庫県	8.9	8.4	2.4	1.3	0.4	24.9	11.6	13.4
奈良	8.2	8.3	2.5	1.3	△ 0.1	28.8	13.5	15.3
和歌山	7.8	10.8	2.8	1.3	△ 3.0	25.3	9.8	15.5
鳥取	8.6	10.5	1.9	1.0	△ 1.9	29.4	12.9	16.5
島根	8.2	11.5	2.7	1.3	△ 3.3	25.9	9.1	16.9
岡山	8.9	9.5	1.9	0.9	△ 0.5	29.4	10.8	18.6
広島	8.9	9.0	2.6	1.2	△ 0.1	24.2	9.9	14.4
山口	7.9	11.2	2.7	1.6	△ 3.2	28.1	13.0	15.1
徳島	7.8	10.9	3.0	1.6	△ 3.1	26.1	9.6	16.5
香川	8.6	10.2	2.9	1.0	△ 1.6	27.4	14.0	13.4
愛媛	8.1	10.6	1.4	0.5	△ 2.5	29.4	9.9	19.5
高知	7.6	11.3	3.0	2.3	△ 3.7	28.7	9.5	19.2
福岡	9.0	8.6	2.0	1.0	0.4	31.9	10.8	21.2
佐賀	8.9	9.8	2.0	1.3	△ 0.9	29.0	11.0	17.9
長門	8.5	10.2	3.0	1.7	△ 1.7	37.8	13.6	24.3
熊本	8.9	9.9	2.2	1.0	△ 1.0	34.4	11.7	22.7
大分	8.5	10.1	2.4	1.4	△ 1.6	32.1	11.8	20.3
宮崎	8.8	9.7	2.4	0.9	△ 0.9	42.4	13.5	28.9
鹿児島	8.7	10.8	3.5	1.1	△ 2.2	38.0	13.5	24.6
沖縄	12.1	6.7	2.4	0.9	5.4	36.0	16.4	19.5
(再掲)								
東京都区部	7.9	7.6	2.9	1.6	0.3	27.5	12.2	15.3
札幌市	7.8	7.0	2.3	1.1	0.8	35.7	13.9	21.8
仙台市	9.1	6.3	2.2	1.2	2.8	27.9	9.9	18.1
さいたま市	9.2	6.4	2.8	1.3	2.8	22.3	9.6	12.7
千葉市	8.6	6.4	2.7	2.0	2.2	20.9	12.8	8.1
横浜市	9.0	6.5	2.9	1.6	2.5	22.5	11.4	11.1
川崎市	10.2	6.0	2.8	1.6	4.2	20.3	10.6	9.8
静岡市	8.1	8.5	3.1	1.4	△ 0.4	28.8	13.0	15.8
名古屋市	8.9	7.8	2.5	1.0	1.1	26.1	11.4	14.7
京都市	8.0	8.4	2.5	1.4	△ 0.4	25.1	9.0	16.1
大阪市	8.7	9.0	2.7	1.4	△ 0.3	29.8	11.2	18.6
堺市	9.4	7.7	2.1	1.0	1.6	26.2	11.5	14.7
神戸市	8.3	8.1	2.8	1.4	0.2	23.8	10.7	13.1
広島市	9.6	7.0	2.2	1.0	2.6	22.9	9.8	13.1
北九州市	8.5	9.7	2.5	1.3	△ 1.1	30.6	8.7	21.9
福岡市	9.4	6.3	1.8	0.8	3.0	33.6	11.0	22.7

注： 1 全国には住所が外国・不詳を含む。
 2 人口千対の率算出に用いた人口は付表「諸率の算出に用いた人口」19ページ参照。
 3 合計特殊出生率の算出には、全国値は各歳別の女性の日本人口、都道府県値は5歳階級別の女性の総人口を用いた。
 4 堺市は平成18年4月から指定都市となったが、1月からの数値を計上している。

周産期 ²⁾ 死亡率 (出産千対)	妊娠満22週 ²⁾ 以後の死産率 (出生千対)	早期新生児 死亡率 (出生千対)	婚 姻 率 (人口千対)	離 婚 率 (人口千対)	合計特殊 出生率 ³⁾	都道府県
4.7	3.7	1.0	5.8	2.04	1.32	全 国
5.1	4.1	0.9	5.4	2.36	1.18	北 海 道
6.4	4.7	1.7	4.7	2.15	1.31	青 森 県
5.0	3.6	1.4	4.7	1.75	1.39	岩 手 県
5.1	4.3	0.8	5.6	2.03	1.25	宮 城 県
5.9	4.8	1.2	4.2	1.68	1.34	秋 田 県
4.7	3.5	1.3	4.7	1.70	1.45	山 形 県
4.0	3.1	1.0	5.1	2.01	1.49	福 島 県
4.6	3.6	1.0	5.5	2.00	1.35	茨 城 県
4.8	3.7	1.1	5.7	2.05	1.40	栃 木 県
5.6	4.6	1.0	5.5	1.96	1.36	群 馬 県
5.1	4.2	0.8	5.9	2.02	1.24	埼 玉 県
4.7	3.7	0.9	6.1	2.07	1.23	千 葉 県
4.7	3.6	1.1	7.2	2.12	1.02	東 京 都
5.0	3.8	1.2	6.5	2.12	1.23	神 奈 川 県
5.2	4.0	1.2	4.7	1.52	1.37	新 潟 県
6.8	5.3	1.5	4.9	1.61	1.34	富 山 県
5.1	4.3	0.8	5.4	1.73	1.36	石 川 県
4.2	3.1	1.1	5.2	1.66	1.50	福 井 県
3.7	2.8	0.8	5.3	1.97	1.34	山 梨 県
4.4	3.8	0.6	5.5	1.80	1.44	長 野 県
5.4	4.1	1.4	5.2	1.67	1.35	岐 阜 県
4.1	3.3	0.9	5.8	1.96	1.39	静 岡 県
4.2	3.5	0.7	6.5	1.94	1.36	愛 知 県
5.2	4.0	1.2	5.4	1.91	1.35	三 重 県
6.2	4.7	1.6	5.7	1.80	1.41	滋 賀 県
4.1	3.2	0.8	5.6	1.96	1.19	京 都 府
4.3	3.5	0.8	6.1	2.37	1.22	大 阪 府
3.9	3.0	0.9	5.6	1.98	1.28	兵 庫 県
6.2	5.4	0.8	5.0	1.81	1.22	奈 良 県
4.6	3.5	1.1	4.9	2.21	1.34	和 歌 山 県
4.6	3.8	0.8	5.0	2.00	1.51	鳥 取 県
4.0	3.0	1.0	4.5	1.64	1.53	島 根 県
4.2	3.6	0.6	5.3	1.93	1.40	岡 山 県
3.6	2.8	0.8	5.7	1.93	1.37	広 島 県
5.1	3.7	1.4	4.9	1.86	1.40	山 口 県
4.1	3.0	1.1	4.6	1.94	1.31	徳 島 県
4.4	3.5	0.9	5.3	2.03	1.42	香 川 県
3.8	3.5	0.3	5.1	2.10	1.37	愛 媛 県
5.0	3.1	1.8	4.6	2.19	1.33	高 知 県
3.9	3.1	0.8	6.0	2.25	1.30	福 岡 県
3.8	2.9	0.9	5.0	1.93	1.50	佐 賀 県
4.7	3.5	1.3	4.8	2.00	1.49	長 崎 県
4.6	3.8	0.8	5.1	1.99	1.50	熊 本 県
5.2	3.9	1.3	5.2	2.07	1.45	大 分 県
3.7	3.0	0.7	5.4	2.34	1.55	宮 崎 県
4.5	3.9	0.6	5.2	2.06	1.51	鹿 児 島 県
5.0	4.4	0.6	6.5	2.68	1.74	沖 縄 県
						(再掲)
4.7	3.5	1.1	7.7	2.18	...	東 京 都 区 部
4.6	3.7	0.9	6.2	2.49	...	札 幌 市
3.4	2.8	0.6	6.5	2.02	...	仙 台 市
4.8	3.9	0.9	6.2	1.83	...	さい たま 市
5.2	3.6	1.6	6.0	2.06	...	千 葉 市
4.7	3.6	1.1	6.4	2.06	...	横 浜 市
5.0	3.8	1.2	8.1	2.19	...	川 崎 市
5.0	3.8	1.2	5.6	1.95	...	静 岡 市
4.0	3.3	0.7	6.7	2.11	...	名 古 屋 市
3.5	2.6	0.9	5.8	2.07	...	京 都 市
4.0	3.2	0.8	6.9	2.66	...	大 阪 市
4.9	4.0	0.9	5.7	2.25	...	堺 市
3.5	2.3	1.2	5.6	2.10	...	神 戸 市
3.6	2.9	0.6	6.4	2.06	...	神 戸 市
4.1	2.9	1.2	5.6	2.31	...	広 島 市
3.6	2.9	0.7	7.0	2.29	...	北 九 州 市
					...	福 岡 市

注：1) 死産率は死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除している。

2) 周産期死亡率、妊娠満22週以後の死産率は、それぞれ周産期死亡数、妊娠満22週以後の死産数を出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

3) 合計特殊出生率(期間合計特殊出生率)とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

(実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。20ページ参照)

第4表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	15年	16年	17年	18年
総数	1 934 239	1 576 889	1 221 585	1 187 064	1 190 547	1 123 610	1 110 721	1 062 530	1 092 674
14歳以下	12	14	18	37	43	49	45	42	41
15～19	20 165	14 576	17 478	16 075	19 729	19 532	18 546	16 531	15 933
20～24	513 172	296 854	191 859	193 514	161 361	142 068	136 486	128 135	130 230
25～29	951 246	810 204	550 994	492 714	470 833	395 975	370 220	339 328	335 771
30～34	358 375	388 935	356 026	371 773	396 901	408 585	415 903	404 700	417 776
35～39	80 581	59 127	92 377	100 053	126 409	139 489	150 222	153 440	170 775
40～44	9 860	6 911	12 587	12 472	14 848	17 478	18 790	19 750	21 608
45～49	523	257	224	414	396	402	483	564	522
50歳以上	25	1	-	-	6	19	16	34	9

注：総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	15年	16年	17年	18年
総数	1 934 239	1 576 889	1 221 585	1 187 064	1 190 547	1 123 610	1 110 721	1 062 530	1 092 674
第1子	878 979	667 683	531 648	567 530	583 220	547 170	537 913	512 412	524 581
第2子	753 834	642 573	459 569	428 394	434 964	419 100	417 647	399 307	408 531
第3子以上	301 426	266 633	230 368	191 140	172 363	157 340	155 161	150 811	159 562

注：出生順位とは、同じ母親がこれまでに生んだ出生子の総数について数えた順序である。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

母の年齢	平成18年				平成17年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1 092 674	524 581	408 531	159 562	1 062 530	512 412	399 307	150 811
14歳以下	41	41	-	-	42	42	-	-
15～19	15 933	14 241	1 598	94	16 531	14 752	1 699	80
20～24	130 230	89 323	35 240	5 667	128 135	87 276	35 529	5 330
25～29	335 771	190 805	114 478	30 488	339 328	192 672	117 269	29 387
30～34	417 776	168 560	179 125	70 091	404 700	162 367	174 733	67 600
35～39	170 775	54 368	70 568	45 839	153 440	48 573	63 206	41 661
40～44	21 608	7 071	7 400	7 137	19 750	6 492	6 709	6 549
45～49	522	159	118	245	564	211	153	200
50歳以上	9	5	3	1	34	21	9	4

注：総数には母の年齢不詳を含む。

第5表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた合計特殊出生率

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	15年	16年	17年	18年
総数	2.13	1.75	1.54	1.42	1.36	1.29	1.29	1.26	1.32
15～19歳	0.0209	0.0189	0.0180	0.0185	0.0269	0.0280	0.0275	0.0253	0.0250
20～24	0.5184	0.3855	0.2357	0.2022	0.1965	0.1892	0.1859	0.1823	0.1871
25～29	1.0515	0.9140	0.7031	0.5880	0.4967	0.4490	0.4388	0.4228	0.4353
30～34	0.4314	0.3529	0.4663	0.4677	0.4620	0.4333	0.4364	0.4285	0.4516
35～39	0.0984	0.0666	0.1079	0.1311	0.1572	0.1678	0.1755	0.1761	0.1886
40～44	0.0133	0.0083	0.0113	0.0148	0.0194	0.0227	0.0239	0.0242	0.0286
45～49	0.0008	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0006	0.0006	0.0008	0.0007

注：母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	15年	16年	17年	18年
総数	2.13	1.75	1.54	1.42	1.36	1.29	1.29	1.26	1.32
第1子	0.9426	0.7853	0.6631	0.6607	0.6617	0.6382	0.6371	0.6240	0.6518
第2子	0.8436	0.6918	0.5871	0.5209	0.4949	0.4740	0.4762	0.4643	0.4820
第3子以上	0.3484	0.2694	0.2923	0.2410	0.2026	0.1783	0.1753	0.1717	0.1831

注：出生順位別の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の母の各歳別出生率を合計したものであり、第1子から第3子以上の出生率を合計したものが、合計特殊出生率である。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

母の年齢	平成18年				平成17年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1.32	0.6518	0.4820	0.1831	1.26	0.6240	0.4643	0.1717
15～19歳	0.0250	0.0224	0.0025	0.0001	0.0253	0.0226	0.0026	0.0001
20～24	0.1871	0.1285	0.0505	0.0081	0.1823	0.1243	0.0505	0.0076
25～29	0.4353	0.2481	0.1479	0.0393	0.4228	0.2409	0.1456	0.0363
30～34	0.4516	0.1832	0.1932	0.0751	0.4285	0.1723	0.1849	0.0714
35～39	0.1886	0.0600	0.0779	0.0507	0.1761	0.0557	0.0724	0.0480
40～44	0.0286	0.0094	0.0098	0.0094	0.0242	0.0079	0.0082	0.0080
45～49	0.0007	0.0002	0.0002	0.0003	0.0008	0.0003	0.0002	0.0003

注：1 母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

2 出生順位別の総数の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の母の各歳別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。

第6表 性別にみた死因順位（第10位まで）別
死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合

死 因	平成18年			平成17年			対前年増減	
	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率
総 数								
全 死 因	1 084 450	859.6	100.0	1 083 796	858.8	100.0	654	0.8
悪性新生物	(1) 329 314	261.0	30.4	(1) 325 941	258.3	30.1	3 373	2.7
心疾患	(2) 173 024	137.2	16.0	(2) 173 125	137.2	16.0	△ 101	△ 0.0
脳血管疾患	(3) 128 268	101.7	11.8	(3) 132 847	105.3	12.3	△ 4 579	△ 3.6
肺炎	(4) 107 242	85.0	9.9	(4) 107 241	85.0	9.9	1	0.0
不慮の事故	(5) 38 270	30.3	3.5	(5) 39 863	31.6	3.7	△ 1 593	△ 1.3
自殺	(6) 29 921	23.7	2.8	(6) 30 553	24.2	2.8	△ 632	△ 0.5
老衰	(7) 27 764	22.0	2.6	(7) 26 360	20.9	2.4	1 404	1.1
腎不全	(8) 21 158	16.8	2.0	(8) 20 528	16.3	1.9	630	0.5
肝疾患	(9) 16 267	12.9	1.5	(9) 16 430	13.0	1.5	△ 163	△ 0.1
慢性閉塞性肺疾患	(10) 14 357	11.4	1.3	(10) 14 416	11.4	1.3	△ 59	△ 0.0
男								
全 死 因	581 370	944.3	100.0	584 970	949.4	100.0	△ 3 600	△ 5.1
悪性新生物	(1) 198 052	321.7	34.1	(1) 196 603	319.1	33.6	1 449	2.6
心疾患	(2) 82 811	134.5	14.2	(2) 83 979	136.3	14.4	△ 1 168	△ 1.8
脳血管疾患	(3) 61 348	99.6	10.6	(3) 63 657	103.3	10.9	△ 2 309	△ 3.7
肺炎	(4) 56 572	91.9	9.7	(4) 57 310	93.0	9.8	△ 738	△ 1.1
不慮の事故	(5) 23 329	37.9	4.0	(5) 24 591	39.9	4.2	△ 1 262	△ 2.0
自殺	(6) 21 419	34.8	3.7	(6) 22 236	36.1	3.8	△ 817	△ 1.3
肝疾患	(7) 10 909	17.7	1.9	(7) 11 007	17.9	1.9	△ 98	△ 0.2
慢性閉塞性肺疾患	(8) 10 904	17.7	1.9	(8) 11 018	17.9	1.9	△ 114	△ 0.2
腎不全	(9) 9 714	15.8	1.7	(9) 9 463	15.4	1.6	251	0.4
糖尿病	(10) 7 268	11.8	1.3	(10) 7 131	11.6	1.2	137	0.2
女								
全 死 因	503 080	778.9	100.0	498 826	772.3	100.0	4 254	6.6
悪性新生物	(1) 131 262	203.2	26.1	(1) 129 338	200.3	25.9	1 924	2.9
心疾患	(2) 90 213	139.7	17.9	(2) 89 146	138.0	17.9	1 067	1.7
脳血管疾患	(3) 66 920	103.6	13.3	(3) 69 190	107.1	13.9	△ 2 270	△ 3.5
肺炎	(4) 50 670	78.5	10.1	(4) 49 931	77.3	10.0	739	1.2
老衰	(5) 20 892	32.3	4.2	(5) 19 677	30.5	3.9	1 215	1.8
不慮の事故	(6) 14 941	23.1	3.0	(6) 15 272	23.6	3.1	△ 331	△ 0.5
腎不全	(7) 11 444	17.7	2.3	(7) 11 065	17.1	2.2	379	0.6
自殺	(8) 8 502	13.2	1.7	(8) 8 317	12.9	1.7	185	0.3
糖尿病	(9) 6 382	9.9	1.3	(9) 6 490	10.0	1.3	△ 108	△ 0.1
肝疾患	(10) 5 358	8.3	1.1	(10) 5 423	8.4	1.1	△ 65	△ 0.1

注：()内の数字は、死因順位を示す。
「心疾患」は、「心疾患（高血圧性を除く）」である。

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-1)

死因 簡単分類 コード	死 因	平成 18 年						平成 17 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
	総 数	1 084 450	581 370	503 080	859.6	944.3	778.9	1 083 796	858.8
01000	感染症及び寄生虫症	24 011	12 223	11 788	19.0	19.9	18.3	23 538	18.7
01100	腸管感染症	2 190	916	1 274	1.7	1.5	2.0	1 752	1.4
01200	結核	2 269	1 517	752	1.8	2.5	1.2	2 296	1.8
01201	呼吸器結核	1 997	1 386	611	1.6	2.3	0.9	2 086	1.7
01202	その他の結核	272	131	141	0.2	0.2	0.2	210	0.2
01300	敗血症	8 862	4 257	4 605	7.0	6.9	7.1	8 504	6.7
01400	ウイルス肝炎	5 815	2 856	2 959	4.6	4.6	4.6	6 042	4.8
01401	B型ウイルス肝炎	689	435	254	0.5	0.7	0.4	786	0.6
01402	C型ウイルス肝炎	4 786	2 245	2 541	3.8	3.6	3.9	4 855	3.8
01403	その他のウイルス肝炎	340	176	164	0.3	0.3	0.3	401	0.3
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	60	55	5	0.0	0.1	0.0	69	0.1
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 815	2 622	2 193	3.8	4.3	3.4	4 875	3.9
02000	新生物	339 424	203 181	136 243	269.1	330.0	210.9	335 870	266.1
02100	悪性新生物	329 314	198 052	131 262	261.0	321.7	203.2	325 941	258.3
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	6 018	4 310	1 708	4.8	7.0	2.6	5 679	4.5
02102	食道の悪性新生物	11 345	9 650	1 695	9.0	15.7	2.6	11 182	8.9
02103	胃の悪性新生物	50 415	32 745	17 670	40.0	53.2	27.4	50 311	39.9
02104	結腸の悪性新生物	27 317	13 680	13 637	21.7	22.2	21.1	27 121	21.5
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	13 739	8 712	5 027	10.9	14.2	7.8	13 709	10.9
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	33 662	22 576	11 086	26.7	36.7	17.2	34 268	27.2
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	16 855	7 942	8 913	13.4	12.9	13.8	16 586	13.1
02108	膵の悪性新生物	23 366	12 539	10 827	18.5	20.4	16.8	22 927	18.2
02109	喉頭の悪性新生物	1 003	942	61	0.8	1.5	0.1	1 090	0.9
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	63 255	45 941	17 314	50.1	74.6	26.8	62 063	49.2
02111	皮膚の悪性新生物	1 261	616	645	1.0	1.0	1.0	1 207	1.0
02112	乳房の悪性新生物	11 274	97	11 177	8.9	0.2	17.3	10 808	8.6
02113	子宮の悪性新生物	5 513	.	5 513	¹⁾ 8.5	.	8.5	5 381	¹⁾ 8.3
02114	卵巣の悪性新生物	4 435	.	4 435	¹⁾ 6.9	.	6.9	4 467	¹⁾ 6.9
02115	前立腺の悪性新生物	9 527	9 527	.	²⁾ 15.5	15.5	.	9 265	²⁾ 15.0
02116	膀胱の悪性新生物	6 126	4 217	1 909	4.9	6.8	3.0	6 029	4.8
02117	中枢神経系の悪性新生物	1 708	973	735	1.4	1.6	1.1	1 681	1.3
02118	悪性リンパ腫	8 639	4 972	3 667	6.8	8.1	5.7	8 537	6.8
02119	白血病	7 429	4 382	3 047	5.9	7.1	4.7	7 283	5.8
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	3 910	1 921	1 989	3.1	3.1	3.1	3 932	3.1
02121	その他の悪性新生物	22 517	12 310	10 207	17.8	20.0	15.8	22 415	17.8
02200	その他の新生物	10 110	5 129	4 981	8.0	8.3	7.7	9 929	7.9
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 990	1 448	1 542	2.4	2.4	2.4	2 864	2.3
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 120	3 681	3 439	5.6	6.0	5.3	7 065	5.6
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4 180	1 899	2 281	3.3	3.1	3.5	4 173	3.3
03100	貧血	1 589	630	959	1.3	1.0	1.5	1 668	1.3
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2 591	1 269	1 322	2.1	2.1	2.0	2 505	2.0

注：1）女性人口10万対である。

2）男性人口10万対である。

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-2)

死因 簡単分類 コード	死 因	平成18年						平成17年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	19 605	10 056	9 549	15.5	16.3	14.8	19 726	15.6
04100	糖尿病	13 650	7 268	6 382	10.8	11.8	9.9	13 621	10.8
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	5 955	2 788	3 167	4.7	4.5	4.9	6 105	4.8
05000	精神及び行動の障害	5 168	1 833	3 335	4.1	3.0	5.2	4 602	3.6
05100	血管性及び詳細不明の認知症 ³⁾	3 920	1 138	2 782	3.1	1.8	4.3	3 334	2.6
05200	その他の精神及び行動の障害	1 248	695	553	1.0	1.1	0.9	1 268	1.0
06000	神経系の疾患	14 251	7 220	7 031	11.3	11.7	10.9	13 004	10.3
06100	髄膜炎	342	187	155	0.3	0.3	0.2	378	0.3
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1 759	965	794	1.4	1.6	1.2	1 730	1.4
06300	パーキンソン病	3 856	1 828	2 028	3.1	3.0	3.1	3 634	2.9
06400	アルツハイマー病	2 286	845	1 441	1.8	1.4	2.2	1 814	1.4
06500	その他の神経系の疾患	6 008	3 395	2 613	4.8	5.5	4.0	5 448	4.3
07000	眼及び付属器の疾患	9	6	3	0.0	0.0	0.0	3	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	15	6	9	0.0	0.0	0.0	14	0.0
09000	循環器系の疾患	324 786	155 787	168 999	257.5	253.0	261.7	329 475	261.1
09100	高血圧性疾患	5 810	2 095	3 715	4.6	3.4	5.8	5 835	4.6
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 348	1 179	2 169	2.7	1.9	3.4	3 470	2.7
09102	その他の高血圧性疾患	2 462	916	1 546	2.0	1.5	2.4	2 365	1.9
09200	心疾患（高血圧性を除く）	173 024	82 811	90 213	137.2	134.5	139.7	173 125	137.2
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 445	796	1 649	1.9	1.3	2.6	2 520	2.0
09202	急性心筋梗塞	45 067	24 554	20 513	35.7	39.9	31.8	47 193	37.4
09203	その他の虚血性心疾患	30 362	16 742	13 620	24.1	27.2	21.1	29 310	23.2
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	7 481	2 418	5 063	5.9	3.9	7.8	7 532	6.0
09205	心筋症	3 655	2 166	1 489	2.9	3.5	2.3	3 625	2.9
09206	不整脈及び伝導障害	21 290	10 487	10 803	16.9	17.0	16.7	22 517	17.8
09207	心不全	58 418	23 342	35 076	46.3	37.9	54.3	56 327	44.6
09208	その他の心疾患	4 306	2 306	2 000	3.4	3.7	3.1	4 101	3.2
09300	脳血管疾患	128 268	61 348	66 920	101.7	99.6	103.6	132 847	105.3
09301	くも膜下出血	14 466	5 456	9 010	11.5	8.9	14.0	14 883	11.8
09302	脳内出血	33 290	18 309	14 981	26.4	29.7	23.2	33 362	26.4
09303	脳梗塞	77 008	35 972	41 036	61.0	58.4	63.5	80 964	64.2
09304	その他の脳血管疾患	3 504	1 611	1 893	2.8	2.6	2.9	3 638	2.9
09400	大動脈瘤及び解離	11 665	6 576	5 089	9.2	10.7	7.9	11 392	9.0
09500	その他の循環器系の疾患	6 019	2 957	3 062	4.8	4.8	4.7	6 276	5.0
10000	呼吸器系の疾患	162 907	90 080	72 827	129.1	146.3	112.8	165 999	131.5
10100	インフルエンザ	865	428	437	0.7	0.7	0.7	1 818	1.4
10200	肺炎	107 242	56 572	50 670	85.0	91.9	78.5	107 241	85.0
10300	急性気管支炎	853	355	498	0.7	0.6	0.8	962	0.8
10400	慢性閉塞性肺疾患	14 357	10 904	3 453	11.4	17.7	5.3	14 416	11.4
10500	喘息	2 778	1 290	1 488	2.2	2.1	2.3	3 198	2.5
10600	その他の呼吸器系の疾患	36 812	20 531	16 281	29.2	33.3	25.2	38 364	30.4
11000	消化器系の疾患	42 429	23 133	19 296	33.6	37.6	29.9	41 802	33.1
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 403	1 924	1 479	2.7	3.1	2.3	3 490	2.8
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5 585	2 443	3 142	4.4	4.0	4.9	5 260	4.2

注： 死因分類については、WHOの最新の勧告を国内に適用するため「統計調査に用いる産業分類並びに疾病、傷害及び死因分類を定める政令第三条の規定に基づく疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表（平成6年総務庁告示第75号）」が改正（平成17年10月7日）され、平成18年1月1日から「ICD-10（2003年版準拠）」が適用された。この分類の変更に伴い死因のコーディングルールについても変更があったため、数値の年次比較については十分留意願いたい。

なお、これまでのICD-10とICD-10（2003年版準拠）の死因分類比較については、平成18年人口動態統計（上巻）に掲載の予定である。

3) ICD-10（2003年版準拠）の適用により、分類名が変更された。

4) ICD-10（2003年版準拠）の適用により、分類名が追加された。

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-3)

死因 簡単分類 コード	死 因	平成18年						平成17年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
11300	肝疾患	16 267	10 909	5 358	12.9	17.7	8.3	16 430	13.0
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	9 064	5 486	3 578	7.2	8.9	5.5	9 387	7.4
11302	その他の肝疾患	7 203	5 423	1 780	5.7	8.8	2.8	7 043	5.6
11400	その他の消化器系の疾患	17 174	7 857	9 317	13.6	12.8	14.4	16 622	13.2
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	990	381	609	0.8	0.6	0.9	969	0.8
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	4 848	1 701	3 147	3.8	2.8	4.9	4 603	3.6
14000	腎尿路生殖器系の疾患 ³⁾	27 859	12 105	15 754	22.1	19.7	24.4	26 952	21.4
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3 164	1 160	2 004	2.5	1.9	3.1	3 028	2.4
14200	腎不全	21 158	9 714	11 444	16.8	15.8	17.7	20 528	16.3
14201	急性腎不全	3 962	1 780	2 182	3.1	2.9	3.4	4 012	3.2
14202	慢性腎不全	12 084	5 739	6 345	9.6	9.3	9.8	11 539	9.1
14203	詳細不明の腎不全	5 112	2 195	2 917	4.1	3.6	4.5	4 977	3.9
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患 ³⁾	3 537	1 231	2 306	2.8	2.0	3.6	3 396	2.7
15000	妊娠、分娩及び産じょく	63	-	63	¹⁾ 0.1	-	0.1	66	¹⁾ 0.1
16000	周産期に発生した病態	828	418	410	0.7	0.7	0.6	842	0.7
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	86	45	41	0.1	0.1	0.1	67	0.1
16200	出産外傷	9	5	4	0.0	0.0	0.0	7	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	403	203	200	0.3	0.3	0.3	425	0.3
16400	周産期に特異的な感染症	69	38	31	0.1	0.1	0.0	64	0.1
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	151	81	70	0.1	0.1	0.1	161	0.1
16600	その他の周産期に発生した病態	110	46	64	0.1	0.1	0.1	118	0.1
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	2 306	1 155	1 151	1.8	1.9	1.8	2 324	1.8
17100	神経系の先天奇形	95	56	39	0.1	0.1	0.1	119	0.1
17200	循環器系の先天奇形	1 178	575	603	0.9	0.9	0.9	1 215	1.0
17201	心臓の先天奇形	887	433	454	0.7	0.7	0.7	931	0.7
17202	その他の循環器系の先天奇形	291	142	149	0.2	0.2	0.2	284	0.2
17300	消化器系の先天奇形	106	57	49	0.1	0.1	0.1	97	0.1
17400	その他の先天奇形及び変形	632	344	288	0.5	0.6	0.4	663	0.5
17500	染色体異常、他に分類されないもの	295	123	172	0.2	0.2	0.3	230	0.2
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	37 659	12 555	25 104	29.9	20.4	38.9	34 454	27.3
18100	老衰	27 764	6 872	20 892	22.0	11.2	32.3	26 360	20.9
18200	乳幼児突然死症候群	194	119	75	0.2	0.2	0.1	196	0.2
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9 701	5 564	4 137	7.7	9.0	6.4	7 898	6.3
20000	傷病及び死亡の外因	73 112	47 631	25 481	58.0	77.4	39.5	75 380	59.7
20100	不慮の事故	38 270	23 329	14 941	30.3	37.9	23.1	39 863	31.6
20101	交通事故	9 048	6 258	2 790	7.2	10.2	4.3	10 028	7.9
20102	転倒・転落	6 601	3 931	2 670	5.2	6.4	4.1	6 702	5.3
20103	不慮の溺死及び溺水	6 038	3 226	2 812	4.8	5.2	4.4	6 222	4.9
20104	不慮の窒息	9 187	4 887	4 300	7.3	7.9	6.7	9 319	7.4
20105	煙、火及び火炎への曝露	1 509	959	550	1.2	1.6	0.9	1 593	1.3
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	873	596	277	0.7	1.0	0.4	891	0.7
20107	その他の不慮の事故	5 014	3 472	1 542	4.0	5.6	2.4	5 108	4.0
20200	自殺	29 921	21 419	8 502	23.7	34.8	13.2	30 553	24.2
20300	他殺	580	314	266	0.5	0.5	0.4	600	0.5
20400	その他の外因	4 341	2 569	1 772	3.4	4.2	2.7	4 364	3.5
22000	特殊目的用コード ⁴⁾	-	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS] ¹⁾	-	-	-	-	-	-

(別表)

日本における外国人の人口動態

平成18年

国籍	出生数(母の国籍別)			死亡数			乳児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	
総数	12 188	6 253	5 935	5 969	3 531	2 438	34
韓国・朝鮮	1 792	884	908	4 588	2 676	1 912	1
中国	2 880	1 499	1 381	492	298	194	7
フィリピン	1 252	635	617	114	36	78	3
タイ	140	70	70	36	17	19	-
米国	273	144	129	121	74	47	4
英国	61	29	32	19	16	3	1
ブラジル	2 954	1 546	1 408	184	132	52	11
ペルー	731	363	368	35	22	13	3
その他の国	2 105	1 083	1 022	380	260	120	4

国籍	死産数 (母の国籍別)	婚姻件数		離婚件数	
		夫	妻	夫	妻
総数	640	4 161		1 303	
韓国・朝鮮	152	985	948	463	436
中国	101	423	536	528	552
フィリピン	175	35	286	7	35
タイ	16	64	98	5	18
米国	13	525	344	14	5
英国	1	42	18	-	-
ブラジル	75	1 101	1 026	52	29
ペルー	21	283	275	40	41
その他の国	86	703	630	194	187

注：本表における外国人とは、次のものをいう。

- 出生・死産は両親とも外国籍のもの
- 死亡・乳児死亡は死亡した者が外国籍のもの
- 婚姻・離婚は夫妻とも外国籍のもの

外国における日本人の人口動態

平成18年

出生数			死亡数			婚姻件数	離婚件数
総数	男	女	総数	男	女		
14 745	7 516	7 229	1 501	931	570	12 786	1 677

注：本表における日本人とは、次のものをいう。

- 出生は両親または両親の一方が日本国籍のもの
- 死亡は死亡した者が日本国籍のもの
- 婚姻・離婚は夫妻または夫妻の一方が日本国籍のもの

諸率の算出に用いた人口

都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総数	男	女
全 国	126 154 000	61 568 000	64 586 000
北海道	5 585 000	2 651 000	2 934 000
青森	1 419 000	670 000	749 000
岩手	1 370 000	656 000	713 000
宮城	2 343 000	1 140 000	1 203 000
秋田	1 130 000	534 000	597 000
山形	1 201 000	579 000	622 000
福島	2 070 000	1 007 000	1 063 000
茨城	2 934 000	1 461 000	1 473 000
栃木	1 988 000	989 000	999 000
群馬	1 985 000	977 000	1 008 000
埼玉県	6 989 000	3 523 000	3 466 000
千葉県	5 999 000	3 003 000	2 996 000
東京都	12 405 000	6 182 000	6 223 000
神奈川県	8 710 000	4 402 000	4 308 000
新潟	2 408 000	1 166 000	1 242 000
富山	1 098 000	529 000	568 000
石川	1 163 000	562 000	602 000
福井	808 000	391 000	416 000
山梨	867 000	425 000	442 000
長野	2 154 000	1 050 000	1 105 000
岐阜	2 064 000	1 001 000	1 064 000
静岡県	3 719 000	1 831 000	1 887 000
愛知県	7 136 000	3 583 000	3 553 000
三重	1 832 000	891 000	941 000
滋賀	1 363 000	674 000	690 000
京都府	2 598 000	1 248 000	1 349 000
大阪府	8 642 000	4 192 000	4 450 000
兵庫県	5 506 000	2 638 000	2 868 000
奈良	1 407 000	669 000	738 000
和歌山	1 023 000	482 000	541 000
鳥取	600 000	287 000	313 000
島根	732 000	349 000	383 000
岡山	1 938 000	931 000	1 008 000
広島	2 846 000	1 376 000	1 470 000
山口	1 471 000	694 000	778 000
徳島	801 000	381 000	420 000
香川	1 003 000	482 000	521 000
愛媛	1 453 000	685 000	768 000
高知	787 000	370 000	417 000
福岡	5 015 000	2 376 000	2 639 000
佐賀	859 000	405 000	454 000
長崎	1 461 000	682 000	778 000
熊本	1 829 000	861 000	968 000
大宮	1 199 000	565 000	634 000
宮崎	1 145 000	538 000	607 000
鹿児島	1 738 000	813 000	925 000
沖縄	1 361 000	668 000	694 000

資料：「平成18年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

5歳階級・男女別人口（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
総 数	126 154 000	61 568 000	64 586 000
0～4歳	5 451 000	2 792 000	2 659 000
5～9	5 872 000	3 011 000	2 861 000
10～14	5 961 000	3 055 000	2 906 000
15～19	6 348 000	3 260 000	3 089 000
20～24	7 115 000	3 656 000	3 459 000
25～29	7 791 000	3 966 000	3 825 000
30～34	9 440 000	4 792 000	4 648 000
35～39	9 087 000	4 600 000	4 487 000
40～44	7 833 000	3 953 000	3 881 000
45～49	7 586 000	3 808 000	3 777 000
50～54	8 333 000	4 158 000	4 175 000
55～59	10 752 000	5 323 000	5 429 000
60～64	8 092 000	3 935 000	4 156 000
65～69	7 585 000	3 625 000	3 961 000
70～74	6 786 000	3 119 000	3 667 000
75～79	5 393 000	2 324 000	3 069 000
80～84	3 644 000	1 343 000	2 300 000
85～89	1 933 000	575 000	1 358 000
90～94	888 000	221 000	667 000
95～99	235 000	45 000	190 000
100歳以上	29 000	4 000	24 000

資料：「平成18年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

16大都市・男女別人口（総人口）

16大都市 (再掲)	総数	男	女
東京都	8 568 000	4 249 000	4 319 000
札幌市	1 889 000	891 000	998 000
仙台市	1 027 000	501 000	527 000
さいたま市	1 183 000	594 000	589 000
千葉市	930 000	466 000	465 000
横浜市	3 602 000	1 813 000	1 789 000
川崎市	1 342 000	694 000	648 000
静岡市	712 000	347 000	366 000
名古屋市	2 223 000	1 104 000	1 119 000
京都市	1 473 000	702 000	771 000
大阪市	2 635 000	1 282 000	1 353 000
堺市	832 000	401 000	432 000
神戸市	1 529 000	725 000	804 000
広島市	1 158 000	561 000	597 000
北九州市	991 000	465 000	525 000
福岡市	1 414 000	679 000	736 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成18年10月1日現在の総人口である。

基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000	総 数	120 287 000
45～49	8 651 000		

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

○ 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」であり、次の2つの種類がある。

A 「期間」合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

どの年齢の女性の人数も同じとして算定される出生率なので、女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B 「コーホート」合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の出生率」である。

○ 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。

○ 晩婚化・晩産化が進行している状況では、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なるため、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なる。

2. コーホート合計特殊出生率（ごく粗い計算）

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみてごく粗く計算した。

例えば1967～1971年生まれ（平成18年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.44であるが、40歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、少なくともこの水準を上回ると見込まれる。

現在、晩産化の進行中であることから、平成18年の期間合計特殊出生率は、出産を終えた世代の高年齢時における低い出生率と、晩婚化・晩産化により出産を先送りしている世代の若年齢時の低い出生率の合計となっており「実際に一人の女性が一生の間に生む子どもの数」より低く現れている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

母の年齢	昭和51年 (1976)	56年 (1981)	61年 (1986)	平成3年 (1991)	8年 (1996)	13年 (2001)	平成18年 (2006)
		1.85	1.74	1.72	1.53	1.43	1.33
15～19歳	0.0186	0.0196	0.0196	0.0188	0.0188	0.0289	0.0250
20～24	0.4825	0.3697	0.3016	0.2244	0.1988	0.1980	0.1871
25～29	0.9266	0.9074	0.8557	0.6956	0.5631	0.4782	0.4353
30～34	0.3446	0.3669	0.4473	0.4722	0.4895	0.4425	0.4516
35～39	0.0694	0.0693	0.0891	0.1115	0.1395	0.1659	0.1886
40～44	0.0097	0.0082	0.0094	0.0118	0.0155	0.0199	0.0286
45～49	0.0004	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0007

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

母の年齢	1957-1961	1962-1966	1967-1971	1972-1976	1977-1981	1982-1986	1987-1991
	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.0186	0.0196	0.0196	0.0188	0.0188	0.0289	0.0250
20～24	0.3697	0.3016	0.2244	0.1988	0.1980	0.1871	
25～29	0.8557	0.6956	0.5631	0.4782	0.4353		
30～34	0.4722	0.4895	0.4425	0.4516			
35～39	0.1395	0.1659	0.1886				
40～44	0.0199	0.0286					
45～49	0.0007						
コホート 合計特殊出生率	1.88	1.70	1.44	1.15	0.65	0.22	0.03

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

母の年齢	1957-1961	1962-1966	1967-1971	1972-1976	1977-1981	1982-1986	1987-1991
	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03
15～24	0.39	0.32	0.24	0.22	0.22	0.22	
15～29	1.24	1.02	0.81	0.70	0.65		
15～34	1.72	1.51	1.25	1.15			
15～39	1.86	1.67	1.44				
15～44	1.88	1.70					
15～49	1.88						

*「15～19歳の世代」は、昭和62～平成3年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和57～61年生まれ、
「25～29歳の世代」は、昭和52～56年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和47～51年生まれ、
「35～39歳の世代」は、昭和42～46年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和37～41年生まれ、
「45～49歳の世代」は、昭和32～36年生まれ。

3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は次の3つの要素に分解できるので、その動向は、「(期間)合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口(15～49歳)」と「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」の動向にもよる。各要素の動向は次頁のとおりである。

$$\text{出生数} = \underbrace{\text{女性人口 (15～49歳)}}_{\substack{\text{(15～49歳のどの年齢の女性の人数} \\ \text{も同じとした場合に見込まれる出生数)}}} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^*} \times \text{(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い}$$

↑
(出生数÷見込まれる出生数)

* (期間)合計特殊出生率は15～49歳までの35個の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口(15～49歳)を乗じて出生数となるよう35で除している。

平成17年	$106.3\text{万人} = 2,738\text{万人} \times \frac{1.26}{35} \times 1.078$
	$\downarrow 2.8\% \quad \downarrow \Delta 0.8\% \quad \downarrow 4.5\% \quad \downarrow \Delta 0.8\%$
平成18年	$109.3\text{万人} = 2,716\text{万人} \times \frac{1.32}{35} \times 1.069$

※合計特殊出生率が変わらなかった場合、出生数は△1.6%であったと見込まれる。

(説明)

- (1) その年の女性の年齢別出生率の合計である「(期間)合計特殊出生率」は、「その年の女性人口(15～49歳)について、仮にどの年齢の女性の人数も同じとした場合のその年の出生率」である。

このため、「女性人口(15～49歳)」に「(期間)合計特殊出生率/35」を乗じたものは、「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に見込まれる出生数」となる。

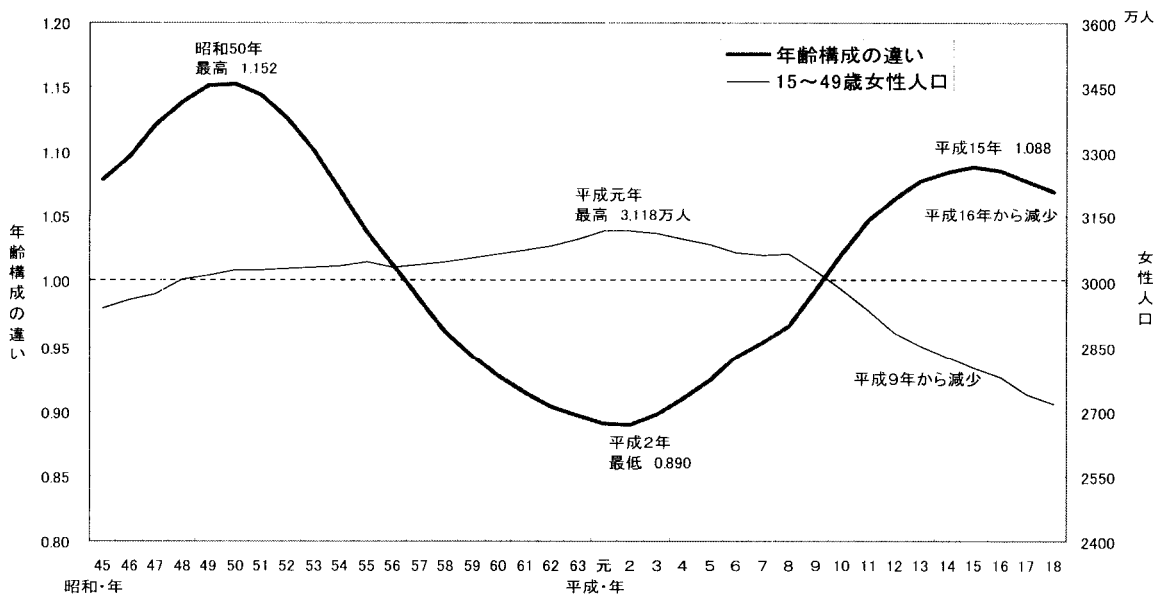
- (2) 「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」とは、「その年の女性の人数が年齢により異なっている状況(年齢構成)が、どの年齢の女性の人数も同じという状況(年齢構成)とどのくらい違うかを表すもの」である。

どの年齢の女性の人数も同じ場合には1となり、概ね、出生率の高い年齢の女性の人数が他の年齢より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

- (3) 「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」が変わらない場合には、出生数は「(期間)合計特殊出生率」が高ければ多く、低ければ少なくなる。

また、「女性人口(15～49歳)」と「(期間)合計特殊出生率」が変わらない場合には、出生数は、「年齢構成の違い」が1より大きければ見込まれる出生数より多く、1より小さければ見込まれる出生数より少ない。

「女性人口(15~49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実数				対前年増減率(%)				
	出生数 ①× ②/35×③	15~49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	15~49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	
1970	昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
71	46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
72	47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
73	48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
74	49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
75	50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
76	51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
77	52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
78	53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
79	54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
1980	55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
81	56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
82	57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
83	58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
84	59	1 489 780	30 519	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
85	60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
86	61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
87	62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
88	63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
89	平成 元年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
1990	2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
91	3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
92	4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
93	5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
94	6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
95	7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
96	8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
97	9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
98	10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
99	11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
2000	12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
01	13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
02	14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
03	15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
04	16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
05	17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
06	18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、16年
 3) 「15~49歳女性人口」の転換年は平成9年

厚生労働省ホームページ掲載表一覧

掲載場所：「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」→「平成18年人口動態統計（確定数）の概況」
 →「人口動態統計年報 主要統計表（最新データ、年次推移）」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suii06/index.html>

人口動態統計年報 主要統計表（最新データ、年次推移）

総 覧			
第 1 表	人口動態総覧		
第 2 表-1	人口動態総覧の年次推移		
第 2 表-2	人口動態総覧（率）の年次推移		
第 3 表-1	人口動態総覧，都道府県（16大都市再掲）別		
第 3 表-2	人口動態総覧（率），都道府県（16大都市再掲）別		
出 生			
第 1 表-1	母の年齢（5歳階級）別にみた出生数の年次推移		
第 1 表-2	母の年齢（5歳階級）別にみた合計特殊出生率の年次推移		
第 2 表-1	出生順位別にみた出生数の年次推移		
第 2 表-2	出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移		
第 3 表-1	出生順位別にみた出生数の年次比較（年齢階級別内訳）		
第 3 表-2	出生順位別にみた合計特殊出生率の年次比較（年齢階級別内訳）		
第 4 表	都道府県別にみた合計特殊出生率の年次推移		
第 5 表	出生順位別にみた母の平均年齢の年次推移		
第 6 表	性別にみた出生時の身長別出生数・構成割合		
第 7 表	性別にみた出生時の体重別出生数・構成割合		
第 8 表	父母の国籍別にみた出生数の年次推移		
第 9 表	単産-複産（複産の種類・出生-死産の組み合わせ）別分娩件数		
第 10 表	都道府県別にみた単産-複産（複産の種類）別分娩件数		
死 亡			
第 1 表	性別にみた死因順位（第10位まで）別死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合		
第 2 表	死因順位（第10位まで）別にみた年齢階級別死亡数・死亡率（人口10万対）		
第 3 表	死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）		
第 4 表	性・年齢階級別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移		
第 5 表	死亡の場所別にみた死亡数・構成割合の年次推移		
第 6 表	死亡の場所別にみた都道府県（16大都市再掲）別死亡数・構成割合		
第 7 表	死因順位（第5位まで）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移		
第 8 表	死因順位（第5位まで）別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率（人口10万対） ・構成割合		
第 9 表	年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡数		
第 10 表	年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡率（人口10万対）		
第 11 表	死因年次推移分類別にみた性別死亡数の年次推移		
第 12 表	死因年次推移分類別にみた性別死亡率（人口10万対）の年次推移		
第 13 表	死因年次推移分類別にみた性別年齢調整死亡率（人口10万対）の年次推移		
第 14 表	主な死因別にみた都道府県（16大都市再掲）別死亡数・死亡率（人口10万対）		
第 15 表	悪性新生物の主な部位別にみた性別死亡数の年次推移		
第 16 表	悪性新生物の主な部位別にみた性別死亡率（人口10万対）の年次推移		
第 17 表	悪性新生物の主な部位別にみた性別年齢調整死亡率（人口10万対）の年次推移		
第 18 表	家庭内における主な不慮の事故の種類別にみた年齢別死亡数・構成割合		
死 産			
第 1 表	妊娠期間別にみた自然-人工別死産数・構成割合		
婚 姻			
第 1 表	初婚-再婚別・夫妻の組み合わせ別にみた婚姻件数・構成割合の年次推移		
第 2 表	夫妻の国籍別にみた婚姻件数の年次推移		
第 3 表	夫・妻の年齢階級別にみた初婚件数・初婚率（人口千対）の年次推移		
第 4 表	夫・妻の平均婚姻年齢の年次推移		
第 5 表	都道府県別にみた夫・妻の平均初婚年齢の年次推移		
第 6 表	初婚夫妻の年齢差別にみた婚姻件数・構成割合の年次推移		
離 婚			
第 1 表	同居期間別にみた離婚件数・平均同居期間の年次推移		
第 2 表	夫妻の国籍別にみた離婚件数の年次推移		
第 3 表	別居したときの夫妻の年齢階級別にみた離婚件数・構成割合		
第 4 表	同居期間別にみた別居したときの夫・妻の年齢階級別離婚件数・構成割合		
第 5 表	親権を行わなければならない子の有無別離婚件数・構成割合及び親が離婚した未成年の子の数・率の年次推移		
別 表	日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態		
付 表	諸率の算出に用いた人口		